

高校生が考える社会課題解決のためのSDGsアクションアイデアコンテスト

SDGs QUEST みらい甲子園



君たちの
「探究」が
未来を変える



最優秀賞チームは、全国大会 FutureSession 2027へ

埼玉県代表チームを
目指そう!



埼玉県大会

大会概要は
こちらから



エントリー
開始

2026年

9月24日(木)

エントリー
締切

2026年

12月1日(火)

13:00まで

👑 ファイナルセレモニー

2027年3月7日(日)

会場: あげお富士住建ホール

(上尾市文化センター) 小ホール

君の挑戦を未来の証明に残そう!

本年度からファイナリスト全員に、探究活動で身につけた経験やスキルのデジタル証明として、**国際標準規格のオープンバッジ**を授与します。進学や就職、将来のキャリアにも活用できる生涯残る学びの証です。

●参加者全員には、これまで通り参加証明書を発行します。



[デジタルバッジイメージ図]

詳しくは
こちらから



[ゴールドパートナー: 特別協賛]



埼玉りそな銀行

RESONA



日本工業大学

NIPPON INSTITUTE OF TECHNOLOGY

アイダ設計

TAMRON

Focus on the Future

[シルバーパートナー: 協賛]

武蔵野銀行

埼玉縣信用金庫

BRANDNEWoMAN

川口信用金庫

日本栄養大学

青木信用金庫

JAバンク埼玉

飯能信用金庫

(順不同)

主催: SDGs QUEST みらい甲子園埼玉県大会実行委員会

後援: 国連広報センター、文部科学省、埼玉県、埼玉県教育委員会

企画・総合プロデュース: 未来教育株式会社

[共催]

埼玉新聞社





SDGs QUEST みらい甲子園 エントリーガイド

**君たちの探究は、
ここから
社会につながる!**

高校生がSDGsの視点から社会課題を探究し、その学びをもとに、未来をより良くするアクションやアイデアを提案・発表するコンテストです。一人ひとりの探究から生まれる新しい発想を社会に広げ、多くの人の行動につながるきっかけを創出することを目指しています。

募集要項

参加条件

当該エリアの高校に通う1年生・2年生、2~6人で構成するチーム

※1名のみでの参加はできません。※チーム内の高校3年生も参加可

高校3年生のみのエントリーは不可

※中学生は同じ中高一貫校に所属する高校生と一緒に参加可 ※通信、高専等参加可

募集内容

SDGsの目標達成に向けた

高校生によるアクションアイデアプラン

※活動実績の有無は問いません。

プラン
記事
記載
事項

●プラン名・チーム名・探究テーマとその選定理由

●社会課題を解決するアクションアイデアと貢献するSDGsゴール

●SDGsアクションを実現する方法

提出形式

公式サイトにてテンプレート(PowerPoint、Googleスライド、Canva、6ページ)をダウンロードし、それをひな形にして作成。

審査方法

●1次審査:PDF審査

●2次審査:5分以内のプレゼンテーション動画(後日提出)を加味した審査

※提出された動画は、後日公式サイト等で公開いたします。

応募方法

エントリーには、メールアドレスが必要です。

1つのメールアドレスで、複数のエントリーはできません。

エントリーは
こちらから



ファイナリスト特典

本年度から参加証明書以外にファイナリスト全員に探究活動で身につけた経験やスキルのデジタル証明として、オープンバッジを授与します。世界標準、生涯残る証を手に入れよう!

- 挑戦すると、社会とつながる。
- 挑戦すると、企業や大学と出会える。
- 挑戦すると、自分の学びが世界共通の証明(オープンバッジ)になる。
- 挑戦すると、新しいステージへ招待される。



[デジタルバッジイメージ図]

詳しくは
こちらから



全国大会だけじゃない。君たちの探究には、もう一つのステージがある。

エントリーした探究アイデアは、テーマに応じて特別コラボレーション企画への参加や選出につながる機会があります。

- JICA国際協力みらい賞発表会 ●全国森林づくりコンテスト
- AI Sustainability Camp ●企業・大学との共創プロジェクトなど

※2025年実績



2027年 SDGs QUEST みらい甲子園 JICA国際協力みらい賞発表会

世界の社会課題をテーマにした探究アイデアを表彰する特別プログラムです。国際協力や開発途上国支援など、世界をより良くするアイデアを対象に選考を実施。選ばれたチームは、JICAとの特別発表会へ招待されます。(2027年夏頃)

埼玉県大会実行委員会 (実行委員長、実行委員 ※五十音順)

●実行委員長



武見 ゆかり
日本栄養大学
副学長/教授



池田 亮
埼玉新聞社
クロスメディア局
局長



生越 康治
熊谷市市民活動支援センター
センター長
立正大学 地域連携コーディネーター



笠原 英之
埼玉県 企画財政部
計画調整課
課長



小松 君恵
株式会社コマム 取締役会長
一般社団法人
埼玉中小企業家同友会 会長理事



千葉 千枝子
淑徳大学
経営学部 観光経営学科
教授